

バオバブの会

THE BAOBAB ASSOCIATION

EDUCATION FOR AFRICAN CHILDREN アフリカの子供達に教育を
セネガル // SENEGAL

My last
Report

私の最終レポート

January 2008



El Hadji Massamba Diouf
ダイウフ エルハッジ マサンバ

ACKNOWLEDGEMENT

感謝の言葉

REMERCIEMENTS

『私の最終レポート』というタイトルを見て、みなさんは驚かれたことでしょうか。バオバブの会はずっと続くと思っていたのに、どうして終わってしまうの？ と。ご安心ください。バオバブの会は終わりません。これからも活動を続けていきます。タイトルの「私」という言葉は、「私ひとりでやってきた」ということを意味しています。次回のレポートは、私たち、つまり、現在集いつつある、バオバブの会の仲間たちみんなですることになるでしょう。バオバブの会は、今、更なる発展のための転換点に立っているのです。

この機にあたり、1999年にこの活動をスタートして以来、私を支援してくださった皆様に、もう一度、そして、これまでで最大の感謝を捧げたいと思います。バオバブの会の運営は、私がひとりで考え、ひとりで決めてやってきました。けれども、皆様の支援がなければ、なにひとつ、成果を出せなかったことでしょうか。本当にありがとうございました。

皆様は、様々な形で私を助けてくれました。寄付やフェスティバル参加の応援から、新たな支援者やグループの紹介、セネガルへ送る本や文房具やサッカーボール集め、福引のチケット販売とパーティーの企画、また、レポートの翻訳や発送、そして、「頑張っ
ね！」という励ましの言葉まで。これらすべてが、私と、セネガルの子どもたち、父母たち、そして教師たちにとって、言葉に表せないほど貴重なサポートとなりました。

皆様の支援はまた、私への信頼を意味していました。このことにも感謝しなければなりません。ありがとうございました。しかし、それに応えようとするのは、私にとって、とても大きな課題でした。皆様の期待に応えることができたのかどうか、わかりません。確かに、一生懸命にやってきて、たくさんことができました。けれども、この活動を始めたときから現在までの年月を考えると、本当はもっと多くのことができたのではないかとも思います。そして、この思いから、何人かの方々に、バオバブの会の運営に関して欲しいとお願いすることを決めました。

セネガルには、「ひとりでうまくできることでも、ふたりでやればもっと良くできる」という諺があります。これからは、みんなで、様々な智恵と力を出し合って、頑張っていきたいと思います。

どうぞ、バオバブの会の新たな展開にご期待ください。そして、今後とも、変わらぬ支援をお願いいたします。

エル・ハッジ・マサンバ ディウフ



☆ ☆ ☆ これまでやってきたこと

その1. 資金集め

☆ ☆ ☆ ☆

すべては1999年に始まりました。私の職場、ベルリッツの同僚たちに、支援を頼もうと決意した時からです。私は、一通の手紙を、ベルリッツ・ジャパン本部に送りました。その内容は次のようなものでした。

「セネガルの私の故郷の村には、とても貧しい学校があり、サポートが必要な子どもたちがいます。何年もの間、私は、ひとりで彼等を援助してきました。しかし、子どもたちの教育環境は、なにひとつ変わりませんでした。そこで、私は、皆さんに支援をお願いすることにしました。ひとりひとりのわずかな負担を合わせれば、大きな力になるからです。」

驚いたことに、それから1カ月後、ベルリッツの教師たちとスタッフから、約40万円のお金が寄せられました。

このお金で、サルムジャネ小学校の子どもたち全員が、ノートと筆記具など必要な文房具のセットを持てるようになりました。教師たちは、欲しかった教材の殆どを手に入れることができました。地図、地球儀、チョーク、定規、コンパス等です。

この予想外の成果のあと、そして、子どもたちの喜びの顔や父母たちの安心した様子を見、感謝の言葉を聞いたとき、私は、この活動をこれで終わらせてはいけない、と思いました。けれども、同僚たちに再び支援を頼むのは申し訳ない、とも思いました。そこで、私は、自分で資金を集めることを決意し、フェスティバルに参加して、セネガルの食べ物を売ることを始めました。

たくさんのフェスティバルに参加しました。

* 鶴見フェスティバルに3回

(主催者のひとりが友人の友人で、誘ってくれました)

* 八王子の“みんな違ってみんな良い”フェスティバル

* 藤沢フェスティバルに3回

* 横浜市の笹山団地盆踊り大会に3回 (私の住んでいるところです)

* 神奈川県民センターのフリーマーケット

* 港南台フリーマーケット

* 横浜国際フェスタに3回

* 緑区多文化フェスタに2回

等々です

鶴見のフェスティバルに参加したとき、神奈川新聞の記者のインタビューを受けました。それが新聞に載ると、たくさんの電話がかかってきました。お金や、ボールペン、鉛筆、ノート、消しゴム、鉛筆削りなどを贈りたいということでした。しかし、私は、お金はともかく、そのような品物をどうやってセネガルに届けたらよいかと悩みました。運送コストがかかりすぎることを知っていたからです。ところが、その時、セネガル政府の注文で造られた船が、まもなく日本からセネガルに運ばれる、ということを知りました。願ってもないチャンス！ 私は、それらの品物をこの船に乗せて、無料でセネガルに送ってもらうことができたのでした。

横浜市の平沼小学校では、子どもたちが、手紙を書いたり、自分たちの地域を絵や地図で紹介するガイドブックを作って、サルムジャネ小学校に送ってくれました。セネガルの子どもたちからも、手紙や絵が届きました。

瀬谷第二小学校は、たくさんのサッカーボールと空気入れ、ノート、色鉛筆などを、サルムジャネ小学校に送ってくれました。サルムジャネ小学校からも、お礼の手紙や絵が届きました。

笹山団地の小学校では、セネガルの小学校と子どもたちのために、毎年、募金をやってくれるようになりました。また、時々、手紙や絵の交換もやっています。

多くの方々が、個人で、またグループ（ビガント、みなとグループ、レイヤ、ロータリークラブ鶴峰、ロックファクトリー、日本語の会21 等々）で、寄付をしてくれました。

2001年、2003年、2005年～2006年の3回、福引をやり、たくさんのお金を集めることができました。



☆ ☆ その2. これらのお金でできたこと ☆ ☆

- ★ 3つの小学校が、バオバブの会から、継続的なサポートを受けられるようになりました。

サルムジャネ小学校

最初にサポートを始めた学校です。以来、ほぼ毎年、年度始めにお金を送っています。

- * 教室を3つ増やしたので、6教室で授業ができるようになりました。
- * トイレを作りました。
- * 給食を始めました。
- * 教師たちと父母会の強い要望により、学校の敷地内に教師用宿舎を建てました。

サーバシチャム小学校

以前から何回かサポートをしていましたが、2004年からは、毎年、お金を送るようになりました。

- * この小学校のある地域は、教師や父母たちが、子どもたちの教育にとっても熱心に取り組んでいるところです。
そこで、現在、この小学校に図書館を作っています。

ンジャゴ小学校

2006年の年度始めから、毎年、お金を送っています。

- ★ 学用品を船で送ったときは、サルムジャネ小学校だけではなく、同じ地域のすべての学校に、少なくとも、サッカーボール1個、30,000セファー（約7500円）、文房具を届けることができました。

★ サルムジャネ中学校

2006年、クアー・サルムジャネ村に中学校ができました。
が、必要なものが不足しているので支援して欲しいということでした。
そこで、2008年の年度始めにお金を送りました。

☆ ☆ ☆

その3. サポートの成果

☆ ☆ ☆

(1) セネガルには義務教育制度がありません。そこで、子どもたちの学校については、父母が決めることになります。子どもたちが学校に入るかどうかは、父母たちがそれを望むか、または、その費用を出せるかにかかっています。1999年にサルムジャネ小学校に始めてのサポートをしたあと、1年生に登録した子どもの数が大幅に増えました。当時の校長によると、バオバブの会のサポートのおかげで、多くの父母たちが、安心して子どもを学校に入れられるようになったからだという事でした。これは大変に重要なことです。なぜならば、たとえ、これらの子どもたちのうちで、将来、高等教育を受けられるのは1~2%しかいないにしても、98%の子どもたちが、少なくとも読み書き計算を覚え、基礎的な知識と広い世界を知る力を身につけることができるからです。私は、これが、「発展」の必須条件だと信じています。

(2) バオバブの会のサポートが始まってから6年後、サルムジャネ小学校は、小学校卒業試験と中学校進学試験において、過去最高の成績を出すことができました。卒業試験合格者18名、進学試験合格者16名というのは、それまでの4~5倍にあたります。

(3) サーバシチャム小学校では、教師たちの熱意もあり、バオバブの会のサポート開始から2年後、小学校卒業試験と中学校進学試験で、近年最高の成績を出すことができました。これはまた、サルム県でベスト2の成績でした。

私の未熟な力でも、これだけの成果を出すことができました。ですから、みんなで一緒にやれば、より少ない期間で、より多くのことができ、より大きな成果を出すことができるはずだと信じています。

会 計 報 告

項目	収入	支出
前回までの残高	671,503	
横浜国際フェスタ 2005 年収益	76,975	
横浜国際フェスタ 2006 年収益	164,330	
緑区多文化フェスタ 2006 年収益	14,280	
福引 2005 年~2006 年	497,130	
寄付	289,249	
学校への送金 2006 年		353,700
学校への送金 2006 年 12 月		312,200
横浜国際フェスタ 2007 年収益	107,434	
図書館建設費 2007 年 4 月送金		253,700
コンピューター、プリンター関係費用		193,386
コピー代、郵送費等		11,011
学校への送金 2007 年		211,148
銀行預金利息	518	
銀行手数料 (週末利用)		210
緑区多文化フェスタ 2007 年収益	17,670	
BALANCE 合計	1,839,089	1,335,355

残高 503,734円

三菱東京UFJ銀行口座に 479,034円
ゆうちょ銀行振替専用口座に 24,700円

2008年1月17日現在

*上記のお金は2008年1月20日以降、総会で決定した会計に管理を託されます

☆ ☆ ☆ これからやっていきたいこと ☆ ☆ ☆ ☆

皆様もご存知のように、多くのことがやりかけで残っています。
また、やらなければならないこと、やりたいことがたくさんあります。

ですから、どうか、これからも、私たちバオバブの会を支援して
くださるよう、お願いいたします。

また、もし、皆様の中に、会の運営にも関わっていきたいと思う
方がいらしたら、大歓迎です。一緒にやっていきましょう！

バ オ バ ブ の 会

〒240-0051 神奈川県横浜市保土ヶ谷区
上菅田町 1500 笹山団地 14-202

T E L & F A X : 045-373-0059

代表 エル・ハッジ・マサンバ ディウフ

寄付振込先:

三菱東京UFJ銀行 八重洲通り支店普通口座 no.1523673
ゆうちょ銀行振替口座 00200=1 45215